



消防学校 ニュース



令和6年5月号

令和6年度の始まりに当たり

令和6年度が始まり、我が消防学校も初任教育初任科学生が入校しました。

我々教職員一同、若者たちの熱い気持ちをしっかりと受け止め、地域防災力強化のため、適正な教育訓練を行ってまいります。

今後とも、皆様の御理解と御協力、よろしくお願い申し上げます。

静岡県消防学校長 三沢 泰

初任教育初任科第95期

入校受付

～最初の難関 頑張れ！～



一同整列！



「やり直し」です

4月4日（木）、初任教育初任科の入校式です。入校生にとって最初の大きな関門は、恒例の入校式前の本校教官による入校受付と入寮受付です。

足並み、声の大きさ、整列の仕方、服装などを受付の教官が、厳しくチェックしていきます。

「声が小さい」「列が揃っていない」「駆け足が揃っていない」「敬礼が揃っていない」

「もう一度、駆け足で戻り、やり直し」

各所属で指導を受けてきていますが、この手厳しいチェックに、一度でパスすることは滅多にありません。教官からの注意があれば、順番待ちの列の最後尾に戻ってやり直しとなります。

このように、学生は初めて体験する指導により、消防学校では、今までの『学生』と違い、消防士として、社会人として、気を引き締めてしっかりと学んでいかなければならない事を自覚したことと思います。

入校式

～期待と不安 緊張の中での入校式～



三沢消防学校長式辞



黒田静岡県危機管理監祝辞



池田静岡県消防長会会長祝辞



宣誓書を手渡す入校生代表

4月4日（木）午前10時から、県内の各消防本部（局）から集まった初任科第95期の入校式を行いました。

初任科生は、約6か月間、消防の知識、技術、心構えなど消防職員としての基本を身に付けるべく、厳しい教育訓練を受けます。

入校式では、黒田静岡県危機管理監、池田静岡県消防長会会長（静岡市消防局長）から温かい励ましのお言葉をいただきました。学生達は、各々の志を再確認し、改めて頑張ろうと思ったことでしょう。

また、入校生代表が気合十分に宣誓書を読み上げ、全学生の宣誓書を学校長に手渡しました。

消防職員初任教育
初任科
（第九十五期）
入校式

○初任科第95期 所属別内訳（110人）

| 東部地区 | | 中部地区 | | 西部地区 | |
|-------|----|-------|----|-------|----|
| 消防本部名 | 人数 | 消防本部名 | 人数 | 消防本部名 | 人数 |
| 下田 | 5 | 静岡 | 18 | 御前崎 | 4 |
| 駿東伊豆 | 14 | 志太 | 5 | 菊川 | 1 |
| 熱海 | 3 | | | 掛川 | 7 |
| 富士山南東 | 5 | | | 袋井 | 4 |
| 御殿場 | 9 | | | 磐田 | 4 |
| 富士 | 5 | | | 浜松 | 18 |
| 富士宮 | 4 | | | 湖西 | 4 |

(担当教官から)

初任科第95期のスローガンは「消防精神」です。これは「平素から知性を磨き、訓練、技法、修養等を通じて、精神力を高め、気迫のある人間としての心構えが必要である」という言葉です。学生はこの言葉を胸に、これから始まる教育訓練や寮生活を通じ、県内16消防本部(局)から集まった110人が、新しい友となり、親しい友となり、信じる友となり、心の友となっていきます。1人も欠けることがなく、110人全員が“絆”を深め修了式を迎えることができるよう、教官一同、全力で取り組んでいきます。

教務課主査 飯塚 誠(静岡市消防局から派遣)

初任科の始まり

いよいよ訓練スタート

訓練礼式



機器取扱訓練



消防活動訓練



総代・副総代選挙結果

～頑張れ総代! 副総代!!～

| 区分 | 氏名 | 所属 |
|----------|-------|----|
| 総代 | 久保 大稀 | 南東 |
| 副総代 (1組) | 菊池 穩 | 静岡 |
| 副総代 (2組) | 飯田 大地 | 静岡 |
| 副総代 (3組) | 高橋 和也 | 駿東 |



総代 久保学生

入校して約1か月が経過した4月30日(火)に、初任科第95期の総代、副総代を初任科生の投票で選出しました。

総代は、初任科第95期全体から1人、副総代は各クラスから1人ずつを選出しました。

代表として選出された4人については、これからの長い期間、それぞれのまとめ役として、同期に強い連帯感が生まれるよう、強い意思と広い視野、細やかな心遣いをもってリーダーシップを発揮してもらいたいと期待しています。

第1回初任科体力測定

～自分を知り、努力せよ～



立位体前屈



握力



上体起こし



立三段跳び



反復横跳び



懸垂



100m 走



274.3m 走



1,500m 走



4km 走



シャトルラン

第1回体力測定を4月に実施しました。この測定で、各人は自分の身体能力を知り、課題を発見できたことと思います。今後は、その足りない部分を努力して補うことが大切な仕事となっていきます。第2回体力測定は8月です。

先輩来校

～同期は一生の宝です。～



佐藤消防士



望月消防士



4月26日（金）の講義「情操」の講師として、昨年度の修了生、佐藤貫太消防士（静岡市消防局）と望月まりん消防士（志太消防本部）が来校し、初任科生に対して、消防士としての心構えや、学校で学んでほしいことをアドバイスしました。また、初任科生からの質問に対して、自身の経験を交えて答えていました。

三沢校長から一言

消防学校長の三沢です。消防学校勤務も2年目に入りました。今年度もよろしくお願ひします。

今日も初任科生110人の元気な声が響いています。やはり初任科生がいると校内に活気があります。入校早々肉離れや捻挫などケガ人が続出、この先どうなることやらと感じていましたが、先週の野外訓練では脱落者が3人と前年を大幅に下回る結果でした。小雨の降る涼しい気候も幸いだったようですが、これからはジメジメと暑い季節がやってきます。熱中症には十分に注意し、がんばってほしいです。

さて、川勝前知事が辞職しました。きっかけとなった辞令交付式での発言には驚いたと同時に、農業で育てられた私は悲しくなりました。

わが家は兼業農家で、幼い頃は軽トラも入らない山奥の農地を借りてキヌサヤエンドウを、小学生の頃には近所の田んぼで花ショウブを栽培していました。先見の明がなく、他人が稼いだというのを耳にしてから始めるので、あまり儲からなかったんじゃないかと思ひます。収穫した何十キロのキヌサヤを父が担いで山を下り、家に帰れば夜中まで等級分けの選定作業、家族総出の重労働でした。

今ではキヌサヤは大好きなおつまみで、今日のゆで方は固いとか、早いうちはみるいからあんまりゆで過ぎるなどか、うんちくをたれながら妻と楽しんでいますが、当時は出荷できないキヌサヤが毎日毎回味噌汁にゴロゴロ入っていました。子どもはあの青臭さが好きではない上に、毎日ですから飽きる飽きる。今となってはいい思い出です。

キヌサヤはちょうどこれからが旬ですね、卵とじもおすすりめです。



編集・発行/ 静岡県消防学校 〒424-0211 静岡市清水区谷津町 1-577-1

☎: 054-369-1190 FAX: 054-369-1197 E-mail: fd-school-somu@pref.shizuoka.lg.jp

★「消防学校ニュース」は静岡県ホームページの消防学校の案内・紹介のところに掲載しています。過去の分を含め、どうぞ御覧ください。

静岡県消防学校

検索

